

事例No.11		
事業名	森吉山野生鳥獣センター整備事業（環境省直轄）	<b>事例キーワード</b> <b>建築物への自然素材の活用</b> <b>太陽光発電</b>
事業担当機関	発注：生活環境文化部、工事实施：建設交通部営繕課	
事業期間	平成13年度～平成15年度	
実施場所	北秋田郡森吉町森吉字森吉山麓高原 1	
事業概要	全体事業費	386百万円
	工事概要	木造1階建：522㎡、太陽電池モジュール：定格出力3.27kw
	事業の目的	<p>環境省では、国設森吉山鳥獣保護区のうち、クマゲラの繁殖地として特に生態系の保全の必要性が高いノロ川上流一帯の特別保護地区を主対象地域として、人と野生鳥獣との共生を図っていくことを目的とした「野生鳥獣との共生環境整備事業」を実施し、生息環境維持・保全、および自然とのふれあいを促進する環境整備を行うこととしている。</p> <p>本施設は、この事業における「自然保護意識の普及啓発、野生鳥獣・生息環境の情報提供拠点」として整備したものである。</p>
環境配慮の内容	<p>1. 地域の天然素材である木材を活用するため、建築物において木造化の有効な箇所への採用に努めている。</p> <p>2. 太陽光発電を導入し、太陽熱の利用に努めている。（太陽電池（屋根一体型）により施設全体の5%に相当する約3kwの電力を発電する。）</p> <p>3. 雨水・雑用水を再利用している。</p>	
状況後の	<p>森吉山鳥獣野生センターは森吉山麓の広大なブナ林の中にあり、木材を使用した外壁が自然とよく調和している。また内装にも秋田杉を使用していることで、来場者には好評である。施設の電源として利用されている太陽光発電については、その発電量を表示し施設の環境共生をPRしている。</p>	

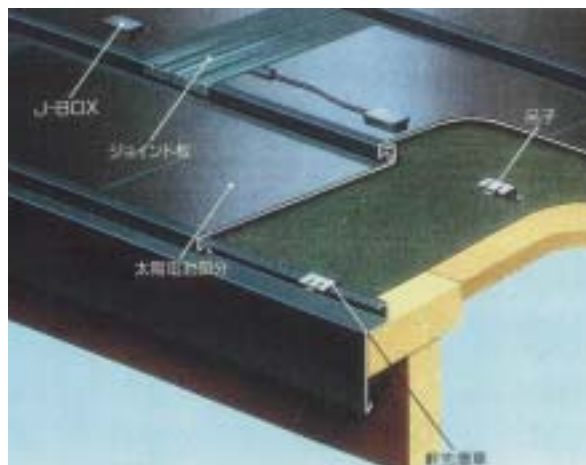
図面、写真、説明



外観  
外装～県産材活用  
屋根面～太陽光発電パネル設置



内観  
内装～県産材活用



屋根面～太陽光発電パネル設置詳細